

## 033ライン ハイパーシーラーエポ (クリアー)

### 【 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦・スカンジナビア瓦) 向け 塗り替え仕様書 】

#### I 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦・スカンジナビア瓦) とは?

乾式コンクリート瓦とはセメント+水+骨材を混合し、成形・乾燥させたものを基材として、その上に着色セメントスラリー層(水ガラス質)と塗膜(アクリルクリアー)を塗付した瓦です。

スラリー層(着色セメントスラリー層)とは成形後、コンクリートと同質の無機質着色材を塗布した防水層になります。環境下にもよりますが、クリアー塗膜を含め着色スラリー層は経年劣化して非常に脆弱な状態(粉化)となり、巣穴が深く塗り替えには特に注意が必要な屋根材です。

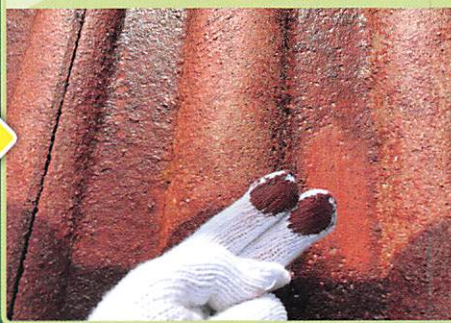
形状には、平形と洋形(山型)があり、モニエル瓦、クボタ洋瓦、スカンジニア瓦などの商品名があります。裏面はセメント基材の色ですが、瓦端面(小口)の凹凸が大きく、高圧水洗浄でスラリー層が剥がれるので入念な洗浄が重要となります。

#### II 洋風コンクリート瓦 (モニエル瓦・スカンジナビア瓦) の塗装工程

施工前 (高圧水洗浄前)



高圧水洗浄前 (接写)



高圧水洗浄工程



シーラー塗装工程



高圧水洗浄後 (接写)



高圧水洗浄後



ガムテープ付着力試験



上塗り塗装工程



塗装完成



POINT 1 劣化した着色スラリー層は高圧水洗浄で完全に除去して下さい。

POINT 2 下塗りは、乾燥後に基材が濡れ色になるまでたっぷり2回塗布して下さい。

POINT 3 下塗りの付着力をガムテープで確認してから上塗り塗装を行って下さい。



# 【乾式コンクリート瓦（モニエル瓦・スカンジナビア瓦）向け 塗り替え仕様書】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率	塗装回数	標準塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23°C)
下地処理	高圧水洗浄、デッキブラシ等を用いて脆弱な着色スラリー層、汚れ、異物を完全に除去します。 ※高圧洗浄の水圧は12MPa(120kgf/cm <sup>2</sup> )以上 / 乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り	ハイパーシーラーエポ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー : 0 (通常不要) エアレス : 0 (通常不要)	2	0.08~0.13	4時間以上 7日以内
確認作業	シーラー乾燥後、ガムテープを用いて付着力の確認を行う。 スラリー層がガムテープに付着する場合は、再度シーラーを塗布する。					

## 水性1液型アクリルシリコン塗料仕上げ

上塗り	ロック水性プロテクトルーフ	水	ハケ・ローラー : 5~15 ハケ・ローラー : 5~15	2	0.15~0.18	2時間以上
-----	---------------	---	----------------------------------	---	-----------	-------

## 弱溶剤1液型アクリルシリコン塗料仕上げ

上塗り	1液ユメロックルーフ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
-----	------------	---------	--------------------------------	---	-----------	-------

## 弱溶剤2液型アクリルシリコン塗料仕上げ

上塗り	ユメロックルーフ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
-----	----------	---------	--------------------------------	---	-----------	-------

## 弱溶剤2液型フッ素樹脂塗料仕上げ

上塗り	サンフロンルーフ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	3時間以上
-----	----------	---------	--------------------------------	---	-----------	-------

## ！ 施工上の注意

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは塗装は避けてください。
- 塗装間隔を守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 高温下では硬化反応が著しく早くなります。塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- スラリー層の除去が不十分だと、塗膜剥離、仕上がり時の光沢低下となる恐れがあります。
- 洗浄水は直接下水道に流さず回収して下さい。
- ハイパーシーラーエポは濡れ色になるまでたっぷり塗装して下さい。
- ハイパーシーラーエポはクリヤータイプのみ使用可能となります。
- シーラー塗装後、使用方法の上塗り可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、アミンブリード（黄変）、塗膜不良を起こすことがありますので、必ず所定の時間を守って上塗り塗装してください。
- 塗装時および塗装後は換気を良くしてください。密閉した室内では乾燥が速くなります。また水のかかる場所は塗装後24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。
- 素地の吸い込みが著しい場合は増し塗りを行ってください。
- 素地の吸い込みが大きい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。素地の下地処理、含水率などにより塗付量が大幅に変わります。あらかじめ試し塗りをを行い、所要量を確認してください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、剥がれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 塗り重ね時間は素地の吸い込み程度により大きく異なることがあります。
- 可使用時間は厳守してください。混合後反応が進むと含浸性が低下します。
- 塗料用器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- このカタログに記載されている適応上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカatalogをご参照ください。

## ！ 安全衛生上および取扱い上の注意

### 【製品の危険・有害性】

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 大量または継続的な暴露により健康障害を引き起こすおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。

### 【施工後の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなど立ち看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないように配慮願います。

### 【取り扱い注意事項】

- 取扱いは引火源のないところでを行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業時には局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分に換気をしてください。

- 溶剤蒸気やスプレードストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着などを着用してください。
- アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを行ない、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、5℃以上、40℃以下で子どもの届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。



東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区両砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
 大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区堀島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000  
 札幌営業部 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-8304  
 仙台営業部 / 〒983-0044 / 仙台市青葉区千石2丁目11番11号 ☎(022)349-8877 FAX (022)283-3255  
 西宮営業部 / 〒252-0131 / 神奈川県横浜市西区西本町1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
 名古屋営業部 / 〒454-0059 / 名古屋市千川区稲川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
 岡山営業部 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966  
 福岡営業部 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑が浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241